

# 美術科だより

第2号



## 美術室開放日のお知らせ

インフルエンザやコロナウイルス感染症、体調不良、部活動の公欠などで欠席をしていた生徒や進度が遅れている生徒は、右記の日程で、美術室で活動ができます。

10月3日(火)から18日(水)の昼休み

10月5日(木)、6日(金)、12日(木)、16日(月)、17日(火)の終学活後から17:00まで

★荷物は美術室廊下に置き、名表に記入をして活動すること！

## 9月の授業の様子から

### 1年生 「合唱コンクールの自由曲からイメージを広げよう！」

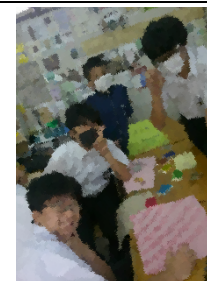
「音」や「音楽」に関連する2作品を比べながら鑑賞し、造形的な特徴を捉え、イメージを広げました。そして、各クラスで歌う自由曲を聴きながら、曲想や強弱、リズムなどをもとに抽象的に表現しています。



### 2年生 「喫茶九中 夢のドリンクをつくろう！」

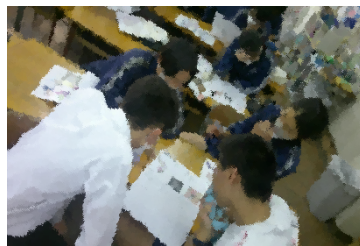
「飲みたいドリンク」をもとにグラスをデザインし、味を想像しながらベースのドリンクやトッピングを考え、表現していきます。

「つながる形 てぬぐいのデザイン」は、完成に向けた仕上げ。全体のバランスをみて調整しています。



### 3年生 「比べる鑑賞2 抽象絵画の世界」

「音」や「音楽」に関連する3作品を比べながら鑑賞し、造形的な特徴を捉え、イメージを深めました。3年生は、形・色彩・イメージからさまざまな技法や奥行き、作風などを分析し、友達と自分の見方や感じ方を議論させる姿がありました。



### 全学年6組 「木を使ってつくろう！」

奥多摩の間伐材を使って、それぞれが作りたいたいものを考え、削り、切り、塗り、制作しています。ヒノキやスギをヤスリで削ると、美術室が森林の匂いに包まれ、リラックスしてアイディアを広げています。木の感触を味わい、木目を見ながら、作りたいたいものがどんどん広がっています。



**芸術の秋 「そうだ！美術館へ行こう！」** 10月に入り、新しい展示がぞくぞく始まっています。九中近郊のおすすめ展覧会を紹介します。

**東京駅・京橋駅 アーティゾン美術館「ここへきて やむに止まれぬサンサンション ジャム・セッション 石橋財団コレクション×山口晃 展」** 3年生の美術資料集になっている山口晃の展覧会。江戸と東京がミックスする俯瞰図(ふかんず:鳥の目で見たような絵)の作品《東京圖(ず)》には、六義園や後樂園が見えます。よ〜く見ると九中あたりも描かれています。現代版の洛中洛外図屏風(らくちゅうらくがいがずびょうぶ)は、タイムスリップを楽しめます。雪舟やセザンヌを因数分解的に解釈する展示もあり、とてもおもしろいです。

**竹橋駅 東京国立近代美術館「女性と抽象 展」** 女性アーティストによる抽象表現をまとめて展示しています。形や色彩をどうやって抽象表現にしていくか、いろいろな作品から味わえます。

**有楽町駅 SusHi Tech Square「わたしのからだは心になる? 展」** 音、映像などのテクノロジーを体感的に鑑賞できる展覧会で、触ったり、聞いたりして、作品を身体全体で捉えながら見て回れる会場になっています。環境や防災、科学、都市など、いろいろな視点から作品がつけられています。

このほかにも

東京都現代美術館の「デイヴィッド・ホックニー 展」 国立新美術館の「イヴ・サンローラン 展」など、注目の展覧会が目白押しです！

アーティゾン美術館



東京国立近代美術館



SusHi Tech Square

